



**NYK**LINE

# NYK LNG シップマネージメント株式会社

## 会 社 案 内

- ◇ 事業内容・会社概要・その他
- ◇ 「船舶管理業務」とは
- ◇ 職務の内容
- ◇ LNG 船（写真）

所在地：〒100-0005

東京都千代田区丸の内2丁目3番2号 郵船ビル

連絡先：NYK LNG シップマネージメント株式会社

ビジネスサポート マネジャー 赤星朋子

TEL (03) 3284-5920 (直通)

E:Mail [tomoko.akahoshi@nyklngsm.co.jp](mailto:tomoko.akahoshi@nyklngsm.co.jp)

## ◇ 事業内容・会社概要・その他

日本郵船（NYK）グループは、世界をリードするグローバルな海・陸・空の総合物流企業グループです。LNG 輸送は日本郵船グループの主要ビジネスのひとつであり、当社は LNG 船に特化した船舶管理会社として、その一翼を担っています。

### 事業内容

- ・ LNG 船（液化天然ガス運搬船）の **船舶管理業務**
- ・ 日本郵船㈱LNG グループの営業活動を技術的に支援する業務

### 当社コンセプト

「安全運航・品質管理・コスト競争力・顧客満足度において、世界 No.1 の LNG 船舶管理会社を目指します。」

### 会社沿革

- 1885 年 日本郵船株式会社設立
- 1983 年 日本郵船株式会社として、LNG 船船舶管理を開始
- 2006 年 10 月 LNG 船の船舶管理業務を日本郵船㈱から分社化し、「NYK LNG シップマネジメント㈱」として業務を開始  
(同時期に、英国でも、NYK LNG Shipmanagement (UK) Ltd. を設立し、船舶管理業務を開始)

### 船舶管理隻数

直接管理船 18 隻、管理支援船 13 隻、計 31 隻（2011 年 4 月現在）

### 会社概要

- 資本金 : 99 百万円（日本郵船 100%出資）
- 役員 : 代表取締役社長 米澤寛（東京商船大学 N28）  
取締役 桑原敦郎（東京商船大学 E30）  
社外取締役 5 名、監査役 1 名
- 従業員 : 49 名（2011 年 4 月現在）  
内訳）陸上勤務海技者 31 名、技師 5 名、事務職 13 名
- 事業所/勤務地 : 本店（東京）。但し、将来的には、本店以外の国内外にて LNG 関係業務に従事する可能性があります。

#### ◇ 「船舶管理業務」とは

造船所で建造された船舶は、そのままの状態では運航できず、輸送サービスに従事せしめることができません。船舶を運航できる状態にするためには、船舶の所有者（船主）は、国際条約や船籍国・寄港地等の定める法令や規則に則り、乗組員を配乗し、必要な船用品・予備部品・潤滑油等を供給し、保険を付保する、といった様々な手配をしなければなりません。就航した後も、乗組員の交代者の派遣、機器類の調整整備、部品の交換、消耗品の補充、修繕、入渠工事、法定検査の受検、証書類の更新、等、ハード・ソフト両面で船舶の堪航性（船舶が航海できる状態）を維持していく必要があります。

簡潔に言えば、上記の「船舶を安全に運航できる状態にし、それを維持向上する業務」が「船舶管理業務」です。

1970年代頃までは、船主が“船舶の所有”“船舶の管理”の両方の業務を行なう形態が一般的でした。現在では、それらが分化し、船舶管理業務のみを生業とする「船舶管理会社」という業態が、世界的にも一般化しつつあります。船舶管理会社は、船主の委託を受けて、船主の代理として船舶管理業務を遂行します。当社は、LNG船に特化した船舶管理会社です。

船舶管理会社の使命は、

- ・ 安全運航（事故の防止、機器トラブルの防止）
- ・ 資産善管（船主の資産である船舶を良好な状態に保全）
- ・ コスト競争力確保（競争力あるコストで船舶管理を遂行）

であり、これらのバランスを取りつつ業務を遂行していかなくてはなりません。

## ◇ 職務の内容

○工学系卒業予定者 ※2012年度は採用の予定はありません。

Technical Superintendent (以下 TSI) を目指して頂きます。  
TSI は、主として、入渠監督業務に従事します。

### ※入渠工事 (Dry Dock) とは

船舶は、5年に2回(2年～3年毎に1回)、造船所で受検、整備、及び修繕工事を実施するよう法定で義務付けられている。この定期工事は、通常は船舶を修繕造船所の船渠(通常ドライドックと呼ばれる)に入れて水門を閉め内部の海水をポンプで排水して船底を検査するため、海運業界では入渠工事(Dry Dock)と称している。自動車の車検のようなもの。

TSI は入渠監督として、入渠工事前の修繕計画策定～入渠工事中の現場監督～入渠工事後の造船所との値段交渉等の一連の業務を行ないます。

LNG 船は、LNG(液化天然ガス)という危険品を輸送する船舶のため、他の商船とは異なり、運航中に実施できる修繕工事は非常に限定的です。(火気工事は原則的に運航中実施できない。)即ち、修繕工事全体における入渠工事の比重がたいへん高くなります。また、LNG 船は、他の商船とは異なり、特殊・特注品的な部材・部品・機器を使用しているため、建造船価自体が高く、修繕工事費も高額になります。このため、入渠工事費は1隻1回当たり約2億円～10数億円にも達し、その差配・交渉も TSI が行ないますので、遣り甲斐と責任を負う仕事です。

基本的にはオフィス内での仕事になりますが、入渠監督として国内海外の修繕造船所への3週間～3ヶ月程度の長期出張があります。

○商船学系卒業予定者 ※2012年度の新卒を採用予定です。

当社での業務は、**陸上勤務前提**であり、乗組員として LNG 船に乗船し  
て頂くことは想定しておりません。(但し、LNG 船で実際に行なわれている業務内容を知って頂くために、研修を目的として、1ヶ月程度、LNG 船乗船研修は受けて頂きます。)

新卒者の方は、学校で習得された専門知識を生かしつつ、入社後少なくとも数年間は、

- ・ **Superintendent** (本船担当監督) の補佐業務
- ・ 品質管理の補佐業務
- ・ 船員管理の補佐業務
- ・ 荷役立会い業務

等の業務に従事して頂きます。

従って、停泊中の LNG 船を訪船する機会が多くなります。

その後は、本人のやる気・能力・業績次第で、補佐的立場でなく、自ら主体的に業務を遂行する立場 (正規 **Superintendent**、等) への昇格が有り得ます。

また、将来的には、海外プロジェクトへの派遣の可能性もあります。

#### ◇ これまでの新卒者採用実績

2007年度実績：3名 (航海専攻1名、機関専攻2名)

2008年度実績：1名 (航海専攻1名)

2009年度実績：1名 (機関専攻1名)

2010年度実績：0名

2011年度実績：0名

2012年度予定：若干名

御参考) 2011年4月現在 当社プロパー社員14名在籍  
(内訳：新卒者4名、キャリア採用10名)

◇ LNG 船

モス型 LNG 船



メンブレン型 LNG 船

